

第5章 活用

1 活用の基本方針

本特別天然記念物は、本市西部地域において、上高地（国の特別名勝及び特別天然記念物）と並ぶ代表的な文化財です。地域計画では、白骨温泉が位置する安曇地区の関連文化財群「自然の財産」の核となる文化財として位置付けられています。また、本市全体の関連文化財群のテーマ区分において「松本の自然」の中で「温泉」がもたらしたものとして触れられています。本計画は、地域計画に定めた文化財の保存活用の具体的な取組みの一環として策定するものです。

更に本特別天然記念物の存在する白骨温泉は、日本有数の温泉観光地であり、文化財の活用と観光が一体となっています。噴湯丘や球状石灰石は、地域固有の魅力的な文化資源であり、観光による地域振興の取組みを支援する重要な要素になります。

そこで、本特別天然記念物の活用は、地域計画に定めた地域の歴史文化に触れる機会の創出、文化財の担い手の確保、関連文化財群への市民理解を図りながら本特別天然記念物への理解を深めるとともに、観光による地域振興を図ることを基本方針とします。

2 具体的な取組み

下に示すような取組みにより、本特別天然記念物への理解を深めてもらえるよう、その本質的価値を地域住民や温泉関係者、観光事業者に分かりやすく提示していきます。

なお、本特別天然記念物は、一目でその成り立ちや本質的価値を直感的に理解することは難しい側面を持っています。したがって、活用においては関係者が「分かりやすさ」や「伝わりやすさ」を意識しながら取り組むことが重要です。

【本特別天然記念物への理解を深める】

- ・ 本特別天然記念物の本質的価値を、市民や来訪者に伝える立場にある温泉関係者や観光事業者に対し分かりやすく提示することにより、理解の浸透を図る。
- ・ 学校教育において本特別天然記念物を活用した学習の機会を設け、子どもたちが地域の自然や文化を学ぶことにより郷土への愛着や誇りを感じてもらう。

- ・ 公民館と連携し、講座やフィールドワークなど本特別天然記念物を活用した生涯学習を通じて、市民の本質的価値への理解を深め、関心の向上を図る。

【観光による地域振興を図る】

- ・ 地域関係者が主体となり、白骨温泉の特徴を利用した体験プログラム等を企画開発することにより、宿泊や入浴以外の楽しみ方を来訪者に提供する。
- ・ 来訪者に本質的価値を分かりやすく伝えていくための、地域関係者を軸とした運営体制を構築する。
- ・ 上高地や四賀地区など、周辺地域や市内の地学的な関連文化財群と広域的に連携することにより、市内文化財への関心を高めるとともに市内の回遊性の向上を図る。